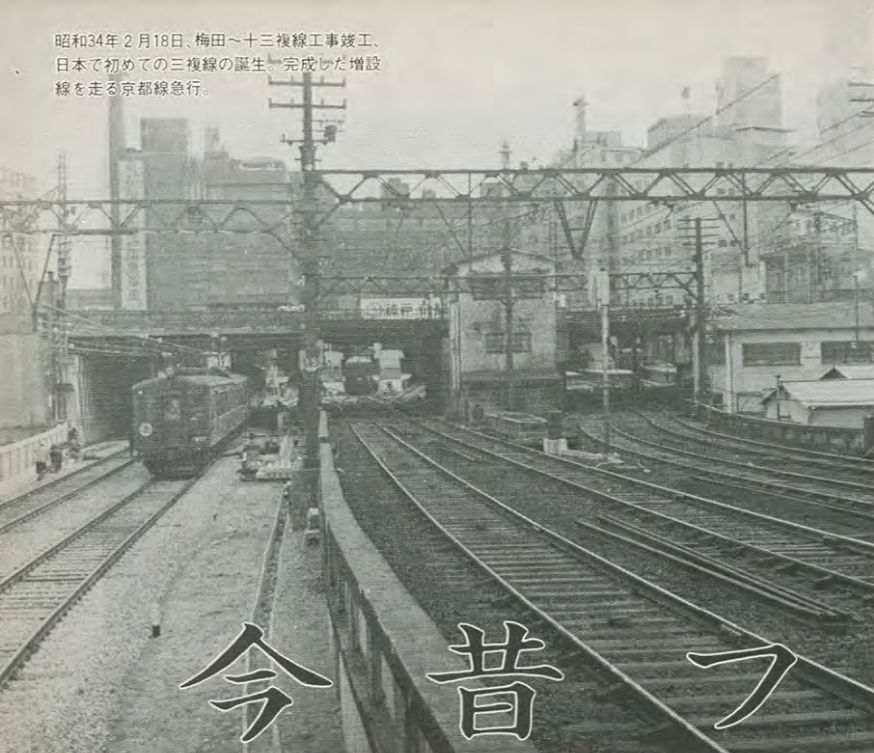


昭和34年2月18日、梅田～十三複線工事竣工、日本で初めての三複線の誕生。完成した増設線を走る京都線急行。



# 今昔フ

現在の三複線。毎時0分、30分(閑散時は京都線特急、宝塚線急行、神戸線特急が同時発車。



現在の梅田駅は1日の乗降客640,885人(58年11月調査)のマンモスタミナル。



昭和9年6月1日から地上駅となった、切替換気後の梅田駅。

阪急電車が走り始めた4世紀。車窓に流れる風景は変わり、風俗・生活も時代とともに大きく変貌してきた。今月号は、TOPIX 150号を記念して、写真で見る阪急沿線77年をお届けしよう。

# 阪 急 沿 線 オ ト ギ ヤ



## 梅 田

初めて梅田から宝塚へ電車が走って74年。梅田は日本を代表するターミナルタウンとなった。



明治43年、開業当時の美人画ポスター



昭和9年5月24日。高架の阪急と平面の国鉄との立体交差切替換気工事の様相。

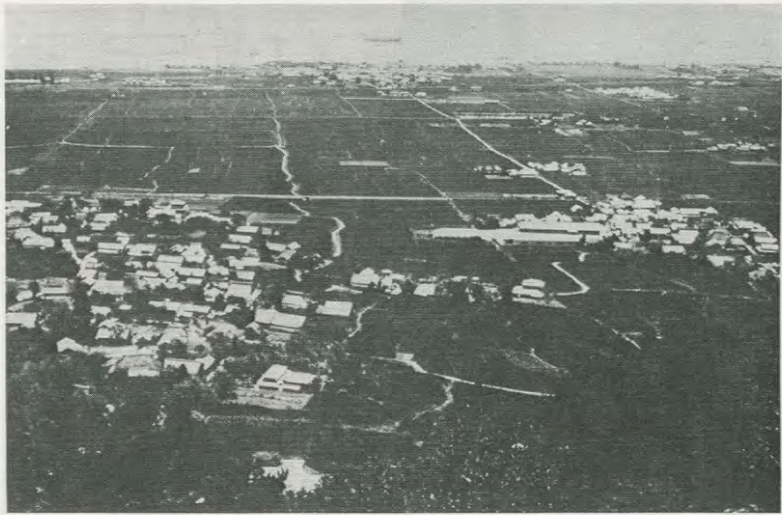


昭和18年、梅田駅の東側。現在、手前の空地は富国生命ビル。バスが停まっている三角地帯にナビオ阪急が建っている。



昭和4年、梅田新道上空から見た御堂筋と梅田交差点。この年、4月18日に阪急百貨店が営業開始した。(朝日新聞社提供)





### 岡本

明治末頃の岡本。保久良山の中腹からの眺めはささぎもの何もなし。手前が本山、海辺が青木の浜。小高い場所からは白波がくだけ散るのが見えたという。(往時の写真は保久良神社提供)



### 岡町

明治43年、開業当時の岡町停留場。電車は当時の最新鋭車1型車両、まわりの森は原田神社の神苑である。今では駅と神社の間に道路と商店街が、同じ地点から見ると左手にわずかに神苑の森が望める。

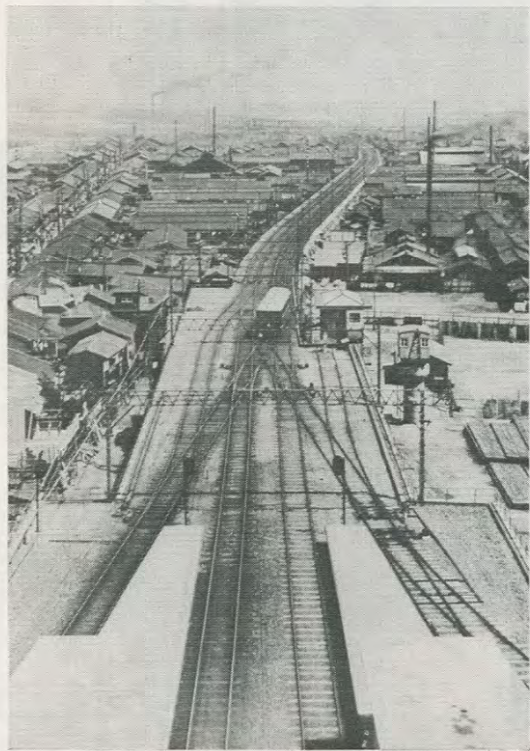


### 上筒井

大正9年7月16日、梅田～上筒井間が営業開始。昭和11年4月1日(三宮乗り入れ)まで神戸の東玄関口として賑わったが、その後、支線(王子公園～上筒井)となり昭和15年5月20日に廃止された。駅のあった場所は、今の王子動物園と県立近代美術館の間の広い通りを西へ約600m。現在の坂口通2丁目。六甲の山並みにその面影を見ることができる。

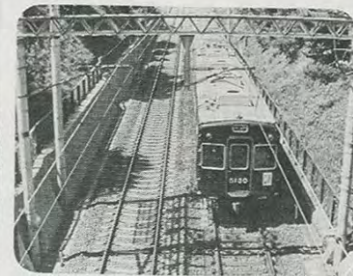
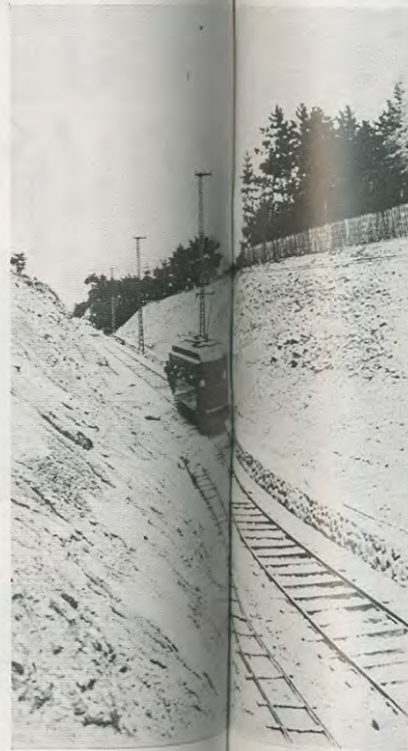


## 阪急沿線 今昔フォトギャラリー



### 天六

大正14年10月15日に天神橋～淡路間が開通した。開通直後の駅ビル屋上から撮影したもので、下町の街並みの感じが手に取るようにわかる。昭和44年12月6日、地下鉄環筋線と相互直通運転を開始。現在の写真手前から地下線になり、共同駅・天神橋筋六丁目駅に至る。(往時の写真は大林組提供)



### 甲東園

大正10年9月2日、開通した西宝線の甲東園付近。現在の上甲東園1丁目の切り通し。その後、大正11年4月1日に複線開通している。(往時の写真は朝日新聞社提供)

### 雲雀丘花屋敷



昭和2年頃から満願寺の付近で住宅地経営が始められ、花屋敷駅と住宅地間2kmの道に、わが国初のトロリーバスを運転した。このバスは、大正15年に日立製作所が試作したもので、長さ4.5m、定員30人乗りの電気自動車で屋根の上には受電ポールをつけていた。